

ザ・茶歌プロジェクト：大学からの技の発信

メタデータ	言語: ja 出版者: 静岡大学教育学部 公開日: 2013-04-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 小西, 潤子, 大槻, 寛, 柳沢, 信芳 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/7169

ザ・茶歌プロジェクト

—大学からの技の発信—

音楽教育講座 小西 潤子 大槻 寛 柳沢 信芳

1. 背景と目的

茶どころ・静岡の歌として、《ちゃつきりぶし》が有名である。これは、昭和2[1927]年に九州出身の詩人・北原白秋が作詞し、町田嘉章がお座敷唄として作曲したいわゆる創作民謡である。80年以上を経ても、《ちゃつきりぶし》が親しまれているように、歌は私たちと過去、未来をつなぐ地域の財産である。

こうした歌の重要性に注目し、大槻寛（作曲）、柳沢信芳（ピアノ）、小西潤子（音楽学）はザ・茶歌^{ちやつか}実行委員会を立ち上げた。そして、現在から未来へのメッセージを込めた「ザ・茶歌（仮タイトル）」の歌詞を静岡県民の皆様から広く公募し、静岡発の新しい茶にまつわる歌の創作と普及活動を展開しようと考えた。つまり、大学の中で培ってきた知見と専門性を活かしつつ、地域在住の専門家とタイアップし、自治体の協力を得ることによって、①大学としての地域貢献、②地域の人材発掘と活用、③地域の文化的アイデンティティの創出、④地域産業の活性化を目指そうとしたのである。

本プロジェクトは、平成19(2007)年度文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業に採択された。本稿ではプロジェクト全体の概要を述べた上で、2008年度のプロジェクト成果について報告する。

2. 経緯

2008年2月2日には静岡市健康文化交流館・来・て・こ（静岡市駿河区）で、入選作品の歌詞展示と、入選作品のなかから選出された入賞作品のお披露目、および授賞式を行った（写真参照）。入賞作品には、作品のイメージにぴったりのお茶にちなむ賞が授与された。1つの優秀な作品を選ぶのではなく、入賞作品のなかから皆さんがお気に入りの作品が自然と広まればよいのではないかと、という考えに基づいたのである。

お披露目の様子は、新聞やラジオ、テレビでも紹介された。ザ・茶歌の応募者による創作過程を追ったラジオ番組「録音風物誌：おっちゃらほいのお茶」も制作され、全国放送された（2008年3月9日、SBSラジオ）。

3. 2008年度の事業展開とまとめ

3. 1 0-CHA アートフェスティバル・静岡新茶初摘み大会（5月1日、舞台芸術公園）

ザ・茶歌プロジェクトに参加していた静岡県前お茶室長・瀧省悟氏の取り計らいによって、静岡新茶初摘み大会がザ・茶歌披露の機会となった。会場の静岡県舞台芸術公園の一角には、プロジェクトのブースが設置された。そして、会場入り口付近では静岡大学邦楽部学生が箏演奏《茶歌ヴァリエ》を適宜行い、雰囲気作りをした。開会式では、石川嘉延県知事のあいさつに続く来賓挨拶、静岡県茶商工業協同組合理事長、各茶産地の茶娘から知事への新茶の贈呈式が行われた。



写真1 新茶贈呈式



写真2 式典に集まった関係者



写真3 邦楽部学生による箏演奏



写真4 緑を背景にザ・茶歌を歌う西山千賀子

この式典の終りに、ザ・茶歌を披露した。時間の制約により、演奏したのは5曲の入賞作品のうち《おいしい静岡茶》（小室斗南作詞、大槻寛作曲）と《茶畑の朝》（中野洋子作詞、小菅由加里作曲）の2曲とした。また、ピアノが準備できない都合で、あらかじめ録音した柳沢信芳のピアノ伴奏を流し、西山千賀子がうたった。

3. 2 静大フェスタ（5月31日、静岡市青葉シンボルロード）

静岡大学開学60周年前年祭として、「静大フェスタ」が行われた。大学内のさまざまな部局などが大道芸でも親しまれている青葉公園大通りに12のテントブースと模擬店、仮舞台を構え、道行く人々と直接顔の見えるコミュニケーションをしようという試みであった。プロジェクトはブース展示、舞台での箏演奏による《茶歌ヴァリエ》および西山千賀子の歌でザ・茶歌を披露した。当日は天候にあまり恵まれなかったのと、舞台では演奏時間が学生サークルによる大音響をバックにしたダンスなどの合間に挟まれたのとで、残念ながらザ・茶歌を広く市民に周知するほどの宣伝効果はなかった。しかし、ブースでの歌詞パネルに関心を持ち、プロジェクト経緯について熱心に質問する方もいた。



写真5 静大フェスタでのブース展示

3. 3 全国茶サミット in 牧之原（2009年1月30日 榛原文化センター）とまとめ

先に述べた静岡新茶初摘み大会を訪れ、ザ茶歌を耳にした西原茂樹・牧之原市長からの招聘により、本イベントでも《おいしい静岡茶》（小室斗南作詞、大槻寛作曲）と《茶畑の朝》（中野洋子作詞、小菅由加里作曲）の2曲とした。

実行委員会は、ザ・茶歌のさらなる普及を目指して、本年度のしめくくりとして入賞作品の楽譜集を印刷することにした。最後に、実行委員会活動にご尽力いただいた吉田理世、吉田道美、小菅由加里、山本多美子各氏をはじめ、御協力いただいた多くの皆様に感謝の意を表したい。



写真6 榛原文化センターにて披露
ピアノ：柳沢信芳、歌：西山千賀子